

政治・行政、社会・文化、教育の各分野の構成の検討状況

通史編目次案（政治・行政）

通史編1（第1編 終戦～1970年代半ばの北海道）						
章	節	項	タイトル	内容・キーワード・見出し等	割当頁数	担当委員
			政治・行政		巻全体：320頁	
第1章			敗戦後の政治・行政の出発		20頁	
	第1節		地方自治体としての北海道		(5頁)	(山崎・前田)
		第1項	戦前の北海道の地方制度	北海道地方費法・北海道会法・内務省・一級二級町村	2頁	山崎
		第2項	官選知事時代の道政	持永、留岡、増田、岡田知事時代	1頁	前田
		第3項	地方制度調査会における議論	開拓（予算）制度・林政統一・支庁制度・分県の是非	3頁	山崎
	第2節		政党政治の復活		(5頁)	(前田)
		第1項	戦後直後の各政党の結党	自由党、進歩党、社会党、共産党、北海道政治同盟、公職追放	2頁	前田
		第2項	国政選挙と統一地方選挙	1946年衆院選、47年衆院選・参院選・統一地方選	3頁	前田
	第3節		食糧危機と戦後民主化		(5頁)	(前田)
		第1項	食糧供出制度と農地改革	食糧危機、第一次・第二次農地改革、市町村農地委員会、日本農民組合、GHQ天然資源局	3頁	前田
		第2項	労働運動の活性化	日本共産党、日本社会党、2・1ゼネスト、三菱美唄炭鉱（朝鮮人・中国人暴動と人民裁判）	2頁	前田
	第4節		日ソ戦争と住民の引き揚げ		(5頁)	(木村)
		第1項	ソ連による樺太・千島の占領	樺太、千島列島、北方四島、日ソ戦争、三船殉難事件、緊急疎開、密航、脱出、シベリア抑留		木村
		第2項	北海道での引揚者受入政策	函館引揚援護局、無縁故者、引揚者住宅、闇市、失業対策、戦後開拓、魚田開発、人口問題、日雇労働、炭鉱		木村
第2章			戦後復興期の道政		110頁	
	第1節		占領期～独立後の道政		(30頁)	(山崎・前田)
		第1項	革新道知事の誕生と第一期の田中道政	各級選挙、道議会の動向、道内の政党政治の再生、占領改革、大蔵省、巡幸構想	8頁	前田
		第2項	第二期の田中道政	各級選挙、道議会の動向、日鋼室蘭争議、社会党分裂と再統一、保守合同、全道労協	7頁	前田
		第3項	第三期の田中道政	各級選挙、道議会の動向、社会党道連、ナショナリズム、北海道農民同盟、農協	7頁	前田
		第4項	第1次5カ年計画・第2次5カ年計画	開拓事業・人口収容・資源開発・TVA・北海道総合開発委員会	8頁	山崎
	第2節		再軍備・北方領土・北洋漁業		(30頁)	(前田)
		第1項	冷戦と再軍備のなかの北海道	再軍備、反共主義、共産主義、北部方面隊、北海道新聞、朝鮮戦争、二次防、安保改定	8頁	前田
		第2項	北方領土返還運動の叢生と日ソ交渉	根室、安藤石典、CIC、北海道附属島嶼復興懇談委員会、全千島返還論、鳩山内閣	7頁	前田
		第3項	貝殻島コンプ協定と函館漁業	日ソ漁業交渉、河野一郎、高崎達之助、大日本水産会、北洋漁業、岸内閣、池田内閣	8頁	前田
		第4項	自治体外交と外資導入論	訪米と外資導入構想（天北炭田）、国連、世界銀行、東南アジア訪問	7頁	前田
	第3節		北海道開発体制の形成		(30頁)	(山崎)
		第1項	終戦後の諸構想	緊急開拓事業・内務省構想・昭和22年大蔵省構想	6頁	山崎
		第2項	北海道開発法の制定	地方開発協議会・北海道総合開発審議会・北海道総合開発委員会	6頁	山崎
		第3項	北海道開発法の改正・政府系金融機関の創設	北海道開発局・北海道（東北）開発公庫・住民投票	6頁	山崎
		第4項	北海道開発をめぐる諸構想	大野構想・緒方構想・蛸山構想・広川構想・正力構想	6頁	山崎
		第5項	北海道開発をめぐる議論	松永勸告・中谷論文・行政管理庁・他地域の開発（東北等）	6頁	山崎
	第4節		道内市町村（合併）の動向・地方財政		(20頁)	(山崎・宇野)
		第1項	戦後地方自治制度の形成	内務省廃止・日本国憲法・地方自治法・地方公務員法	5頁	山崎
		第2項	戦後地方自治の胎動	警察・消防・教育委員会・選挙管理委員会	3頁	山崎
		第3項	町村合併の推進	町村合併促進法・新市町村建設促進法	5頁	山崎
		第4項	戦後地方財政制度の規制と道内自治体の現状	ドッジライン・シャープ勸告・地方税・北海道辺地における電気事業組合と市町村財政	7頁	宇野

通史編目次案（政治・行政）

第3章		高度成長期の道政		110頁	
	第1節	北海道における五五年体制：政治と行政		(30頁)	(前田・山崎)
		第1項 保守道政への移行と第一期の町村道政	各級選挙、道議会の動向と政党配置、自民党道連、高度成長、道庁マシーン	8頁	前田
		第2項 第二期の町村道政	各級選挙、道議会の動向と政党配置、公明党の伸長、寒地農業開発法	7頁	前田
		第3項 第三期の町村道政	各級選挙、道議会の動向と政党配置、北海タイムス救済問題	7頁	前田？
		第4項 革新自治体の時代	革新市長会、旭川・帯広・釧路市政（選挙や政党配置）？	8頁	山崎
	第2節	北海道における米ソ冷戦の展開（領土交渉の停滞）		(20頁)	(前田)
		第1項 防衛	赤城構想、北部方面隊、道警、「防衛力再建」論、デタント、恵庭事件・長沼事件	5頁	前田
		第2項 領土	領対本部、沖縄返還運動、北方領土復帰期成同盟（北方同盟）、佐藤内閣、田中龍夫	5頁	前田
		第3項 漁業	北対協、千島資料館構想、函館水族館構想、安藤孝俊、日韓国交正常化	5頁	前田
		第4項 自治体外交	ソ連との姉妹都市・経済交流、米国領事館の道政（含む学生運動）観察、帯広動物園	5頁	前田
	第3節	地域開発の時代の北海道開発政策		(30頁)	(山崎)
		第1項 国土計画と地域開発	所得倍増計画・全総計画・新産業都市・苫小牧港	8頁	山崎
		第2項 第2期北海道総合開発計画	北海道総合開発委員会・北海道開発審議会・閣議決定	8頁	山崎
	第4節	道内市町村（合併）の動向・地方財政		(30頁)	(山崎・宇野)
		第1項 高度成長期の地方自治の動向		5頁	山崎
		第2項 政令指定都市札幌市の誕生		5頁	山崎
		第3項 総合計画によるまちづくり	旭川市・帯広市・芽室町	5頁	山崎
		第4項 高度成長期の地方財政	固定資産税軽減措置財源としての普通地方交付税増額交付・布設単価高額な事業に対する道費補助制度の創設（簡易水道）	7頁	宇野
第4章		「国土開発」期の道政		80頁	
	第1節	札幌オリンピックの開催と革新自治体の斜陽		(20頁)	(前田・山崎)
		第1項 堂垣内道政の誕生（第一期道政）	各級選挙、道議会の動向と政党配置	5頁	前田
		第2項 札幌オリンピック招致と札幌の一極集中化	札幌オリンピック、ブランデー・シIOC会長、地下鉄の開始	5頁	前田
		第3項 オイル・ショックと保革伯仲時代の北海道	中川旋風・青嵐会、ロッキード事件（佐藤孝行）、大平派、新自由クラブ	5頁	前田
		第4項 革新自治体の退潮と保守・中道連合の伸張	帯広・旭川・釧路	5頁	山崎
	第2節	北方領土返還へのナショナリズム（佐藤内閣～田中内閣）		(20頁)	(前田)
		第1項 防衛	三次防、四次防、沖縄返還、日中国交正常化（中ソ対立）、新左翼	5頁	前田
		第2項 領土	ビザなし交流（曇参）、田中角栄首相訪ソ、道の四島返還運動	5頁	前田
		第3項 漁業	レボ船、二島返還論、外務省ソ連課、根室・釧路・函館	5頁	前田
		第4項 自治体外交	ソ連・韓国札幌総領事館の開設	5頁	前田
	第3節	第三期北海道総合開発計画と道 開発庁関係の変容		(20頁)	(山崎)
		第1項 第3期北海道総合開発計画	北海道総合開発委員会・北海道開発審議会・閣議決定	10頁	山崎
		第2項 行政改革と北海道開発	開発庁統廃合・10割補助見直し・国土計画との関係	10頁	山崎
		第3項 大規模開発プロジェクトの始動	苫東開発・石狩湾新港・青函トンネルなど	10頁	山崎
	第4節	交通基盤整備と自治体		(20頁)	(前田・山崎)
		第1項 戦後の鉄道政策と北海道	運輸審議会・鉄建公団・ローカル線・新幹線・国鉄分割民営化	5頁	山崎
		第2項 鉄道政策に見る北海道の政治・行政	新線建設（石勝線を事例として）	5頁	山崎
		第4項 空港政策に見る北海道の政治・行政	千歳空港を中心に、道内の新空港政策について	4頁	前田
		第5項 港湾政策に見る北海道の政治・行政	水系の話全般。青函連絡船も（フェリーは後掲）	3頁	前田？

通史編目次案（政治・行政）

通史編2（第2編 1970年代半ば以降の北海道）

章	節	項	タイトル	内容・キーワード・見出し等	割当頁数	担当委員
			政治・行政		巻全体：320頁	
第1章			転換期への対応と道政		70頁	
	第1節		「地方の時代」の道政（発展計画、アセスメント条例）		(15頁)	(山崎・前田)
		第1項	堂垣内道政後半期（第二期・第三期）の選挙・議会・政党	各級選挙、道議会の動向、政党配置	5頁	前田
		第2項	第3期計画の見直しと新計画・発展計画の策定	北海道総合開発委員会・北海道開発審議会・閣議決定	10頁	山崎
		第3項	環境問題への対応	環境アセスメント条例・苫東開発・伊達火力	5頁	山崎
	第2節		国際交流（北方圏）と外交問題（200海里問題）		(20頁)	(前田)
		第1項	防衛	防衛大綱、ミグ25事件、日米ガイドライン	3頁	前田
		第2項	領土	レボ船、コワレンコ（雪まつり）、中ソ対立	3頁	前田
		第3項	漁業	200海里問題（各自治体の対応）	7頁	前田
		第4項	北特法の制定	北方領土隣接地域振興・基金方式	7頁	山崎
	第3節		保守回帰時代の地方自治		(20頁)	(山崎)
		第1項	保守中道市政	釧路市・帯広市・旭川市・函館市	8頁	山崎
		第2項	市町村自治の諸相		5頁	山崎
		第3項	1970年代の地方財政	物価高騰下での道財政・法人道民税超過課税・市町村振興補助金制度の創設・都市化の進展と都市財政	7頁	宇野
第2章			独自性を追求する道政		150頁	
	第1節		新長計・戦略プロジェクトとその帰結		(35頁)	(山崎・前田)
		第1項	革新道政への移行と横路道政の始動	各級選挙と道議会の動向と政党配置（社公民路線）、連合北海道	7頁	前田
		第2項	新長計・第5期北海道総合開発計画		10頁	山崎
		第3項	食の祭典・新長計汚職事件		10頁	山崎
		第4項	戦略プロジェクト・地域プロジェクト・市町村との連携	大樹町・一村一品運動・市町村サミット	8頁	山崎
	第2節		国際交流（ソ連、ロシア、新冷戦）と外交問題（韓国）		(30頁)	(前田)
		第1項	防衛	新冷戦、大韓航空機撃墜事件、北部方面隊（南西沖地震）	4頁	前田
		第2項	領土	ビザなし交流再開、ゴルバチョフ、新思考外交、サハリン州、フォードロフ	8頁	前田
		第3項	漁業	200海里問題、日韓・日ソ・日中漁業問題、日露漁業と米企業	8頁	前田
		第4項	自治体外交	横路の訪韓・訪中・訪ソ（モスクワ/極東）・訪欧、大韓航空機の新千歳就航	10頁	前田
	第3節		国政課題と北海道（第二臨調、幌延・泊、国鉄改革）		(40頁)	(山崎)
		第1項	第二臨調と北海道	三庁統合問題・高率補助削減・国鉄分割民営化	10頁	山崎
		第2項	核問題と北海道	泊発電所の運転開始・住民投票問題・幌延問題	10頁	山崎
		第3項	鉄道政策と北海道	赤字ローカル線廃止問題・北海道新幹線	10頁	山崎
	第4節		地域政策の担い手としての市町村（下川町その他）		(40頁)	(山崎・宇野)
		第1項	地域資源を活かしたまちづくり	池田町・鷹栖町	8頁	山崎
		第2項	環境資源を活かしたまちづくり	斜里町・下川町・釧路市	8頁	山崎
		第3項	産炭地域振興・災害対応	夕張市その他・奥尻町・洞爺湖村	5頁	山崎
		第4項	1980年代の地方財政	炭鉱閉山・大雨災害への対応・道債発行2000億円突破・市町村行財政改革	7頁	宇野

通史編目次案（政治・行政）

第3章		改革の時代の道政		100頁	
	第1節	危機対応と道政改革（不正経理事件・経済対策・時のアセス他）		(30頁)	(山崎・前田)
		第1項 掘道政下の各級選挙と道議会の動向、道内外の政党再編	55年体制の崩壊、政治改革、民主党の誕生、自治労北海道、自公連立	6頁	前田
		第2項 道庁不正経理問題	情報公開・道政フォーラム	6頁	山崎
		第3項 道政改革	時のアセスメント・構造改革・試される大地・支庁制度	10頁	山崎
		第4項 危機対応	経済対策・有珠山噴火・農政部談合・BSE・石狩開発再建	8頁	山崎
	第2節	冷戦終結後の国際交流（ロシア）と外交問題		(20頁)	(前田)
		第1項 防衛	ソ連崩壊、湾岸戦争、韓国民主化、北朝鮮核危機、日米ガイドライン改訂、日露海上警備当局間覚書	3頁	前田
		第2項 領土	小沢訪ソ、クラスノヤルスク会談、川奈会談、プーチン訪日、イルクーツク会談、小泉訪口、根室市	7頁	前田
		第3項 漁業	日口さけ・ます漁業交渉、日口地先沖合漁業交渉	3頁	前田
		第4項 自治体外交	横路訪口、堀の北方領土訪問、四島との住民交流、稚内 サハリン交流（フェリー）	7頁	前田
	第3節	国政課題と北海道（苫東・千歳川・幌延・泊、北特法改正問題、アイヌ文化振興法）		(25頁)	(山崎)
		第1項 苫東開発の見直し	基本計画の見直し・第三セクター会社再建	8頁	山崎
		第2項 千歳川放水路計画の中止	山田委員会・小林委員会	8頁	山崎
		第3項 核問題と北海道	泊第3号機・幌延問題・核抜き条例	8頁	山崎
		第4項 北特法改正問題	根室市	8頁	山崎
		第5項 アイヌ文化振興法の制定	アイヌ協会	8頁	山崎
	第4節	地方分権と基礎自治体の実践（ニセコ町、奈井江町その他）		(25頁)	(山崎・宇野)
		第1項 地方分権改革の動向	地方分権委員会・地方分権一括法・平成の大合併	7頁	山崎
		第2項 基礎自治体の実践	ニセコ町・奈井江町・鷹栖町・旭川市・函館市・北見市	10頁	山崎
		第3項 地方分権の時代の地方財政（1990年代以降）	道財政の財政健全化・法定外税の検討	7頁	宇野

「北海道現代史 通史編」第3部（仮） 社会・文化 構成案

令和6年度第1回教育小部会（8/2開催）配付資料から抜粋

頁数は、通史編1及び2の合計

章・節		担当委員	頁(章)	頁(節)	
第1章	終戦直後の混乱と生活	小内(透)	10		
第2章	農山漁村・炭鉱の生活	小内(純)	32	22	
		第2節 炭鉱の生活		小内(透)	10
第3章	都市化と都市の生活	小内(透)	22		
第4章	戦後社会の中のアイヌ民族の生活と文化		35		
第5章	保健・福祉・医療・介護	第1節 保健・福祉	25	10	
		第2節 医療・介護		林	15
第6章	社会運動	第1節 市民・環境・政治運動	83	44	
		第2節 障がい者運動		松本	10
		第3節 女性の人権を求める団体活動		林	29
第7章	自然災害と防災	小内(透)	22		
第8章	宗教	櫻井	20		
第9章	まつり	小内(透)	20		
第10章	地域メディア（地域からの情報発信）	小内(純)	20		
第11章	衣食住文化	第1節 衣文化	36	10	
		第2節 食文化		荒川、菊地、秋野	13
		第3節 住文化		羽深	13
第12章	芸術文化	第1節 美術	80	14	
		第2節 文学		中澤	14
		第3節 映画		中澤	13
		第4節 漫画・アニメーション			13
		第5節 演劇			13
		第6節 音楽			13
第13章	娯楽・レジャー・スポーツ	秋野、小内(純)	10		

「北海道現代史 通史編」第4部（仮） 教育 構成案

令和6年度第1回教育小委員会（8/2開催）配付資料から抜粋
 頁数は、通史編1及び2の合計

章	担当委員	頁数
第1章 占領下の教育改革	大矢	15
第2章 教育行政・教育計画	辻村	11
第3章 教育条件整備・教育運動	横井	15
第4章 小・中学校	坂本	18
	大矢	7
第5章 高等学校	三上	17
第6章 へき地教育	川前	7
第7章 障がいのある子供の教育	藤根	15
第8章 高等教育	光本	18
第9章 アイヌと教育		22
第10章 職業教育・職業訓練・就職	上原	15
第11章 社会教育	辻	35
第12章 就学前教育・保育、子育て、児童福祉	稲井	15
第13章 少年司法福祉	二井	15